

新たな技術で拓く 資源循環型作物生産の可能性

日時 **2015年 8月29日(土)**
13:30～16:00(13:00開場)

会場 新潟大学附属中央図書館 ライブラリーホール

対象 一般市民・高校生・大学生・農業関係者

[司会進行] 末吉 邦 新潟大学農学部教授

[開会の挨拶] 高橋 姿 新潟大学学長
品田 宏夫 刈羽村村長

[基調講演]

13:45～14:45

「持続性の高い農業生産のための資源循環型養分管理」

三枝 正彦 国立大学法人豊橋技術科学大学
先端農業・バイオリサーチセンター 特任教授

休 憩

[講演 1]

14:55～15:35

「排水不良転換畑におけるモミガラ補助暗渠と
マメ科緑肥によるダイズ多収技術」

佐藤 孝 秋田県立大学生物資源科学部 准教授

[講演 2]

15:35～16:15

「高窒素鶏ふんペレットによる水稻の化学肥料全量代替」

南雲 芳文 新潟県農業総合研究所作物研究センター 専門研究員

[閉会の挨拶] 渡邊 剛志 新潟大学農学部長

主催：新潟大学農学部

新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センター

URL <http://www.agr.niigata-u.ac.jp/~nkariwa/index.html>

後援：刈羽村

お問い合わせ／刈羽村バイオドーム事務局フォーラム担当

TEL：0257-31-8871（吉田）



第21回 農学部フォーラム／ 第6回 新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センターフォーラム

【趣旨】 化学肥料に頼り過ぎる現行の施肥管理では、過剰な養分投入による環境負荷の増大や土壌養分バランスの悪化がよく問題になっています。こうした中、畜産や農業、家庭などで出る廃棄物を有機資源として有効に循環利用し、環境に配慮した持続可能な資源循環型作物生産に取り組む動きが各地で見られるようになってきました。本フォーラムでは、大学や県の機関で資源循環型作物生産の研究を進める研究者の方をお招きし、新たな発想と技術に基づいた資源循環型作物生産について話題提供していただきます。

【会場案内】

新潟大学附属中央図書館 ライブラリーホール

新潟市西区五十嵐2の町 8050 <http://www.lib.niigata-u.ac.jp/>

※出来るだけ公共交通機関をご利用ください。



申込締切 **8月21日(金)**

参加をご希望の方は資料準備の都合上、8月21日までにE-mailまたはFAXでお申し込みください。なお、当日参加も可能です。

E-mail 件名を「フォーラム」とし、下記必要事項を明記のうえ、
mary1224@agr.niigata-u.ac.jp に送信してください。

FAX 下記に必要事項をご記入のうえ、このまま
0257-31-8872 へ送信してください。

第21回 農学部フォーラム／第6回 新潟大学・刈羽村先端農業バイオ研究センターフォーラム 参加申込書

ふりがな			
氏名			
勤務先*			所属・役職*
連絡先	住所		
	TEL	FAX	
	E-mail		

※勤務先と所属・役職については該当がない場合、無記入でもかまいません。
※参加申込書にご記入いただきました個人情報は本フォーラムに関するご連絡のみ利用させていただきます。